

* 仙台市衛生研究所ホームページ: <http://www.city.sendai.jp/shisetsu/hokenfukushi/eisei/1577.html>

今回は 2015 年の仙台市の 感染症発生状況についての速報です

感染症発生動向調査とは、感染症の予防と蔓延防止に役立てるため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、感染症法)に基づき、定められた感染症について、診断した医師からの報告をもとに、感染症の発生状況を調査し、分析・公表するものです。

感染症法では、対象となる感染症を感染力や罹患した場合の重篤性等により一類～五類、新型インフルエンザ等感染症に類型化し、診断した医師に届出を行うよう規定しています。なお、一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症は**全数報告対象感染症**^{※1}に分類されており、それ以外の五類感染症は**定点報告対象感染症**^{※2}に分類されています。

仙台市衛生研究所では、医療機関から保健所を通して報告のあった感染症情報のとりまとめを行い、週1回(対象疾患によっては月1回)、**仙台市感染症発生動向調査情報**としてウェブサイトなどで公開しています。それらをもとに、今回は2015年の仙台市の感染症発生状況についてまとめました。

※ 本データは速報値です。追加報告等により修正される可能性があることを御承知おきください。

※1 全数報告対象感染症: 診断したすべての医師に報告が義務づけられている感染症。

※2 定点報告対象感染症: あらかじめ定点として指定された医療機関に報告が義務づけられている感染症。決められた期間中(1週間または1ヶ月)に診断された患者数を報告する。

トピックス

結核は今でも日本最大級の感染症！ 過去の病気ではありません

結核とは、**結核菌**により主に**肺に炎症が起きる感染症**です。

重症の結核患者の咳やくしゃみなどで空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことにより感染します。

「**感染**」=「**発病**」ではありません。感染した人のうち発病するのは**10人に1~2人**といわれています。発病は感染後2年以内がほとんどですが、中には数年から数十年後に発病する方もいます。

仙台市内では1993年以降、結核の集団感染事例が9件発生しています。平成27年度は、下表のとおり2件の集団感染の発生が確定されました。

発生場所	発生年月 ^{※1}	集団感染発生確定日	患者数 ^{※2}		感染者数 ^{※3}
			患者(発病有)	潜在性結核(発病無)	
学校	平成26年(2014年)12月	平成27年(2015年)7月16日	3	3	21
事業所	平成27年(2015年)8月	平成28年(2016年)2月2日	0	32	32

※1 年月は、初発患者の診断日 ※2 集団感染発生確定日の患者数

※3 結核の集団感染の定義

「同一の感染源が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合」とされています。発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を計算します。

結核は、**早期発見・早期治療**が重要です。

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳や痰、微熱などの症状が2週間以上続く場合には、早めに医療機関を受診し、年に1度は健康診断で胸のエックス線検査を受けましょう。

また、乳幼児は抵抗力が弱く、重症化することが多いので、1歳の誕生日の前日までの間(標準的な接種期間は生後5~7カ月)に結核の予防接種(BCG)を受けましょう。



1. 全数報告対象感染症

2015年に診断・報告された全数報告対象感染症を表1にまとめました。

表1 2015年全数報告対象感染症発生状況(仙台市)

類	疾病名	報告数	推定感染地域
二類	結核	161	国内131例, 国内/ネパール3例, 国内/米国1例, 国内/台湾1例, 国内/中国1例, 国内/フィリピン1例, 国内/ベトナム1例, ネパール1例, モンゴル1例, ロシア1例, 不明19例
三類	細菌性赤痢	3	インド1例, 中国1例, フィリピン1例
	腸管出血性大腸菌感染症	24	国内22例, 大韓民国1例, ネパール/タイ1例
四類	E型肝炎	2	国内2例
	A型肝炎	1	国内1例
	デング熱	3	タイ1例, バングラデシュ1例, ベトナム1例
	レジオネラ症	16	国内15例, 中国1例
	レプトスピラ症	1	国内1例
五類	アメーバ赤痢	20	国内18例, スリランカ1例, 不明1例
	ウイルス性肝炎	4	国内4例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	10	国内10例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	(届出対象外)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	国内1例
	後天性免疫不全症候群	11	国内10例, 国内/米国1例
	ジアルジア症	1	国内1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	国内4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	31	国内31例
	水痘(入院例)	3	国内3例
	梅毒	20	国内20例

2015年は3年連続で減少傾向にあった結核が増加し、腸管出血性大腸菌感染症は過去8年間で最も少ない報告数でした。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症は年々増加しています。

また、感染原因として「性的接触」が疑われるものは34件(アメーバ赤痢20件中5件、ウイルス性肝炎4件、後天性免疫不全症候群11件中10件、梅毒20件中15件)、「経口感染」が疑われるものは19件(細菌性赤痢3件中2件、腸管出血性大腸菌感染症24件中10件、アメーバ赤痢20件中3件、E型肝炎2件、A型肝炎1件、ジアルジア症1件)、「動物・蚊・昆虫等からの感染」が疑われるものは4件(デング熱3件、レプトスピラ症1件)ありました。

2. 定点報告対象感染症

2015年に診断・報告された定点報告対象感染症について以下にまとめました。

【2015年 仙台市内定点医療機関の内訳】	
小児科定点	27 [※]
インフルエンザ定点	44 [※] (内科定点17+小児科定点27)
眼科定点	6
性感染症定点	8 (婦人科, 泌尿器科, 皮膚科)
基幹定点	5 (病床数300以上の小児科, 内科及び外科を含む病院)

2015年の週報告対象感染症は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が年間を通して例年よりも多い傾向がみられ、手足口病が過去5年間で最大の流行となりました。

インフルエンザは年末から年明けにかけて2014/2015シーズンの本格的な流行がみられました。(グラフ1)

また、月報告対象性感染症では、いずれも20~40代の年齢層に患者報告数の多い傾向がみられました。(グラフ2)

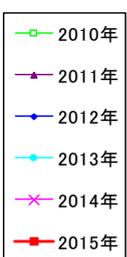
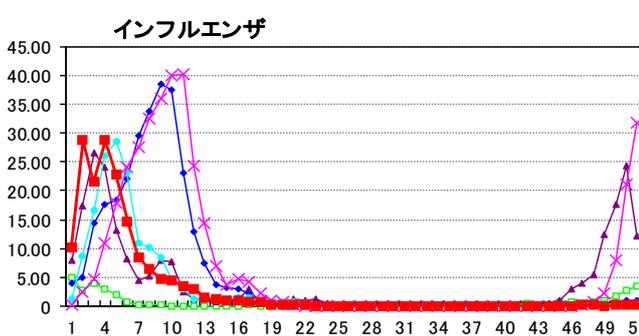
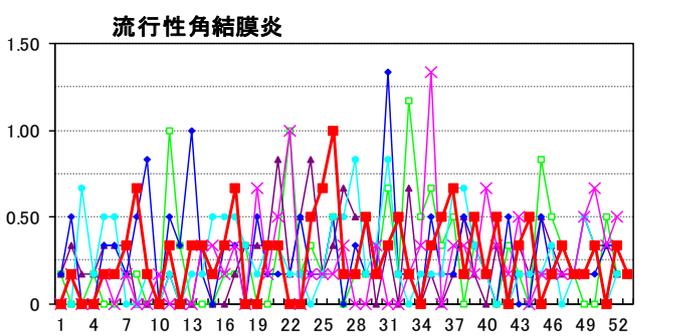
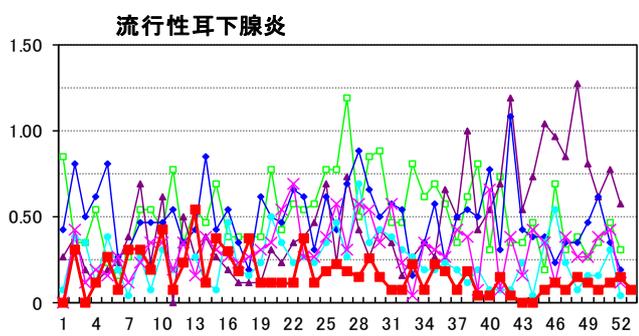
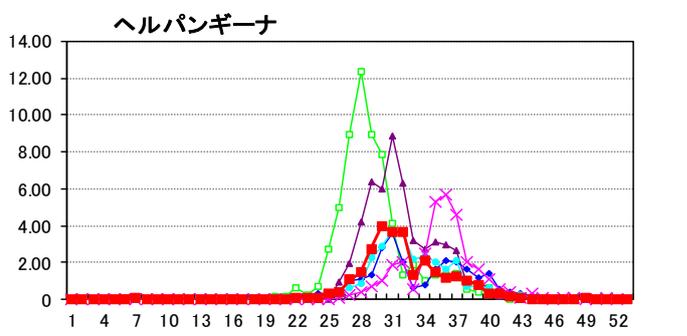
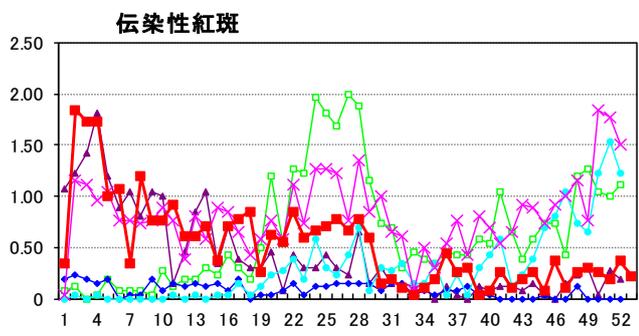
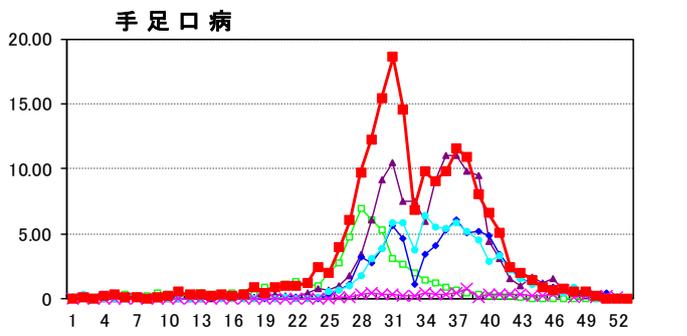
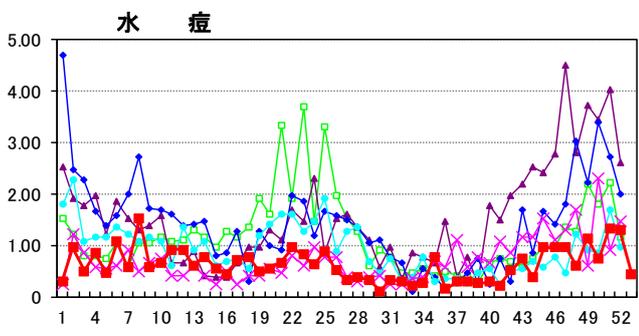
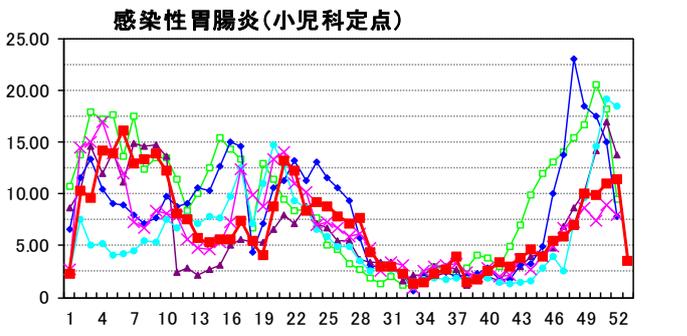
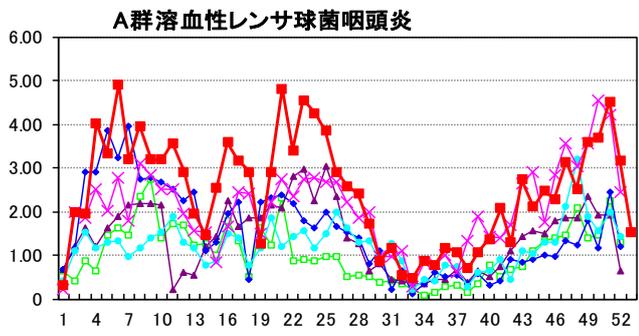
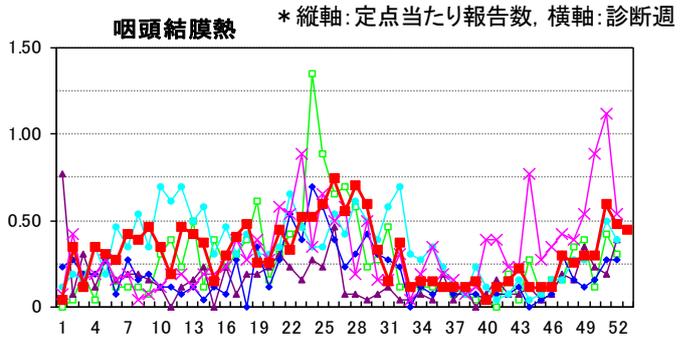
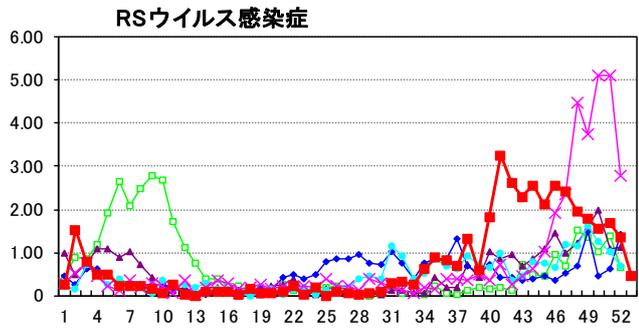
※ 2015年4月1日、定点医療機関の指定期間満了に伴い、新たに定点医療機関が指定されました。

3月31日までは、小児科定点(26)、インフルエンザ定点(42〔内科定点16+小児科定点26〕)となっています。

全国の情報は [こちら](#) ↓

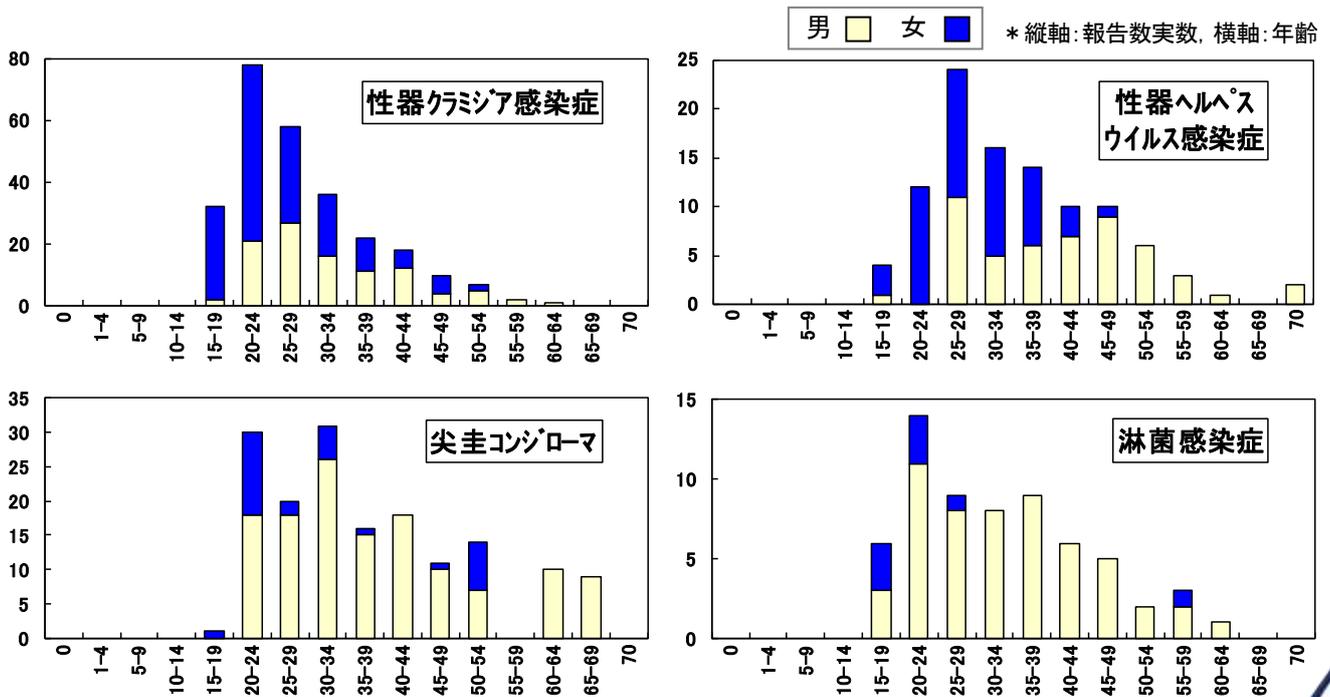
「国立感染症研究所 感染症疫学センター」 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

グラフ1 主な週報告対象感染症の発生状況（仙台市, 2010～2015年）



定点当たり報告数とは？
 報告数の合計を、定点としてあらかじめ指定された医療機関の数で割った**1医療機関当たりの平均報告数**のことです。
 例えば インフルエンザの報告数が20件、定点医療機関の数が5の場合
 $20 \div 5 = 4.0$
「定点当たり報告数：4.0」となります。

グラフ2 定点報告対象性感染症 年齢階級別報告数(実数) (仙台市, 2015年)



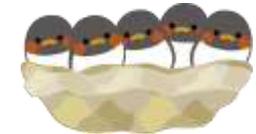
**無料・匿名で
受けられます!**

【エイズ&性感染症の相談・抗体検査】

検査会場	検査日	受付時間	予約	結果通知	HIV	クラミジア	梅毒	問合せ・相談
宮城県歯科医師会館 1F (青葉区国分町1-5-1)	第2・4金曜日 【夜間】	17:00~19:00	※1 要予約	即日	○	×	×	【予約専用】 平日13時~16時 090-4478-4641 【問合せ】 214-8029 (健康安全課)
青葉区役所 2F	第3土曜日【休日】 ※6月, 12月を除く	13:30~15:00			○	×	○※2	
	第1木曜日 【夜間】	17:30~19:00	○	○	×※3	225-7211 (管理課 内線6716)		
	毎週金曜日	9:00~11:00	○	×	○	291-2111 (管理課 内線6717)		
宮城野区役所 3F	第1・3木曜日	9:00~10:30	予約 不要	1週 間後	○	×	○	282-1111 (管理課 内線6715)
若林区役所 3F	第2・4水曜日	9:00~10:30			○	×	○	247-1111 (管理課 内線6717)
太白区役所 3F	第2・4火曜日	13:30~15:00			○	×	○	372-3111 (管理課 内線6716)
泉区役所 東庁舎 2F	第1・3月曜日	9:00~10:30			○	×	○	
					○	×	○	

※ 祝祭日, 年末年始は実施しません。
 ※1 平成27年11月より電子申請(ネット予約)ができるようになりました。
 ※2 平成28年6月より梅毒検査を追加し, 3項目検査となります(要予約)。
 ※3 平成28年5月までは従来通り, HIV 検査とクラミジア検査の2項目検査となります(予約不要)。

詳しい情報は [こちら](http://www.city.sendai.jp/kenko/1190058_2485.html) ↓
 「エイズの相談・抗体検査」 http://www.city.sendai.jp/kenko/1190058_2485.html



仙台市衛生研究所
 〒984-0002
 仙台市若林区卸町東 2-5-10
 TEL: 022-236-7722



今回の担当:
 微生物課 企画調整係 菅野